

# アベ政治を 本気で 止める

憲法いかし  
若者が希望をもてる  
日本に

弁護士・31歳  
参議院東京選挙区予定候補

# 山添 拓

やまぞえ たく

[www.yamazoetaku.com](http://www.yamazoetaku.com)

日本共産党

# 弁護士の経験を 命と暮らしを守る 政治に生かす

山添 拓



## 〈やまぞえ・たく プロフィール〉

1984年京都府生まれ。2007年東大法学部卒。2010年早稲田大学大学院法務研究科修了。2011年弁護士となり東京法律事務所所属。原発事故被害賠償や過労死事件などの弁護団で活動。現在、山添拓法律事務所。家族は妻。趣味は山登りと鉄道写真撮影。好きな食べ物は駅そばと豆腐とアイスクリーム。

弁護士になることを決めたきっかけの一つは、大学時代に訪れたハンセン病療養所での体験です。法律により隔離され差別に苦しみながらも国家賠償の裁判に立ち上がった元患者の方から、「自分と一緒に風呂に入って背中を流してくれた弁護士がいた。それで裁判の決意が固まった」と聞き、私もそういう弁護士になりたいと思いました。

東日本大震災と原発事故が起きた2011年、弁護士として仕事を始めました。弁護団の一員として、福島にも何度も足を運びました。被害がいまなお続いています。ところが国と東京電力は、事故は「想定外」の結果だと繰り返し、いまだにその責任を一切認めません。そして各地で強行される再稼働。この問題の解決には、政治の転換がどうしても必要です。

過労死事件にも取り組んできました。生きるために仕事をするのに、仕事によって命を奪われる人が後を絶たない社会は異常そのもの。命を奪うまで働かせるような企業を規制してこそ、政治の役割を果たしたと言えます。「世界で一番、企業が活躍しやすい国」と称し、労働法を破壊する安倍政治は直ちに終わらせたい。

私は弁護士の仕事を通して、侵された一人ひとりの権利を回復するために力を尽くしてきました。その経験を生かしつつ、今度は国政の場で、みなさんの命と暮らしを守る仕事に取り組みたいと決意しています。



強制的に避難指示がされた  
福島・双葉町での現地調査

## 私と日本共産党

イラク戦争が始まった2003年、大学に入り東京に来て、日本共産党で活躍する先輩たちに出会いました。アメリカにも日本政府に対しても、おかしいと声を上げ、社会に対して主体的にはたらきかける同世代の仲間がいることに、新鮮な驚きがありました。

私もまた、平和な世界をつくりたい、社会を変えるスピードを少しでも速くするのに役立ちたいと思い、日本共産党に入りました。日本社会がかかえる問題に正面から向き合い、矛盾の根本からの解決にとりくむ日本共産党の一員として、これからもたたかいたい。

# ブラックな 働き方なくし 希望ある日本に

山添 拓



**働**く人の実態調査にとりくむと、「自分の会社はブラックだ」「いまの仕事を続けられない。もう辞めるつもりだ」という声が少なくありません。ブラックな働き方が原因で、仕事にやりがいを感じられない、働き続ける展望ももてない。日本社会の明日を担うべき若い世代が置かれた深刻な現状を、このままにすることはできません。

アベノミクスの「規制緩和」のもとで進行する「一億総ブラック化」をくいとめたい。サービス残業根絶、割増賃金の増額、正規と非正規の均等待遇、最低賃金の引き上げ——いまある法律を徹底させ、働く人の命とくらしを第一にする実効性のあるルールづくりへ、政治が変われば実現できることがいくつもあります。

18歳選挙権が始まります。私は、若い世代の思いや願いを実現し、希望ある社会を一緒につくろうと呼びかけたい。いま10代から30代の若い世代が直面する多くの困難——高い学費、奨学金という名の借金、就職活動をしていても正規の職がない、仕事に就けば賃金が安く、長時間労働やパワハラなどのブラックな働き方、結婚し子育てするにもつきまとう不安、そして子どもの貧困——人間らしく、自分らしく生きることへのハードルを力をあわせて乗り越えましょう。

羅針盤となるのは、憲法です。学ぶ権利、働く権利、人間らしく生きる権利を保障するのが憲法です。安倍政治を終わらせ憲法がくらしに生きる社会を、みなさんと一緒に実現します。

### 雇用の「規制緩和」

安倍政権は「世界で一番企業が活躍しやすい国をつくる」と公言し、財界・大企業の要望にこたえて、正社員ゼロを可能にする派遣法の改悪をおこなった。さらに残業代ゼロの過労死促進法、首切り自由の解雇の金銭解決制度などをねらっている。

### 子どもの貧困

生活が支えられるぎりぎりの「貧困ライン」以下で暮らす子どもが日本では6人に1人。OECD諸国中でも最悪水準。安倍政権は「1億総活躍社会」を掲げるが、貧困率削減の「数値目標」の設定もせず、世界の多くの国が採用している返済不要の「給付制奨学金」導入も見送るなど、事態打開への対策は後ろ向き。

## ブラックな働き方を変える 4つの改革提言

### 1 賃金アップ!

最低賃金を1500円に引き上げ。「同一労働・同一賃金」を鉄則に。中小企業でも賃上げできるよう支援を強化 .etc

### 2 残業時間上限を!

「年360時間、月45時間」を労働基準法に明記させ、抜け道となる条項の撤廃を .etc

### 3 均等待遇を!

福利厚生、社会保険、賃金、交通費、休暇、育休取得など、「同じ仕事なら同じ待遇」に .etc

### 4 奨学金の改革を!

返済不要の「給付制奨学金」を大学・専門学校に創設。ブラックバイトの違法・脱法は政府が取り締まる .etc



配布中のパンフレット。山添拓ホームページからダウンロードできます。

# 憲法まもれ 戦争する国づくり を許さない

## 山添 拓



写真：森住卓

山添拓  
こぼれ話

### 京都生まれ



小学校3年生ごろ  
の山添さん

1984年11月、京都府向日（むこう）市で生まれ、その後京都市内に引っ越しました。小学生時代は一輪車を乗り回す毎日。中学では陸上部で円盤投げなどに汗を流しました。高校は京都市立の堀川高校へ。

### 趣味は「撮り鉄」



北海道・噴火湾沿いを行く寝台特急「カシオペア」山添拓撮影



民主主義とはなにかを問いかけた「2015年安保」  
とも呼ばれた多くの市民の立ち上がり——私も憲  
法学習会で講師をしたり、デモや集会に「見守り弁護  
団」として参加したり、国会前にも何度も通い一緒に  
声を上げてきました。暴力的に強行採決した国会審議  
を傍聴し、こんな人たちに日本と世界の将来を任せて  
おくわけにはいかないとの思いを強くしました。

立憲主義を踏みにじり、多くの国民の声を無視して  
強行された安保法制＝戦争法。安倍政権はいま、そ  
の実施を急ぐとともに、憲法そのものを攻撃し、明文  
改憲に取りかかろうとしています。「緊急事態条項」を  
突破口に、首相の一存で国民の権利をいかようにも制  
約できる社会をつくろうとする姿勢は、安倍政権の暴  
走・独裁を象徴しています。

私は、弁護士としても、また若い世代の一人としても、  
憲法を否定し戦争する国づくりを進める安倍政権を許  
すことはできません。大学時代、各大学の学生九条の  
会に呼びかけて「ピースナイト9」のイベントを実現しま  
した。1100人が集った会場で、講演者の故・加藤周  
一さんや仲間とともに「私たちは憲法9条を選びたい」  
と誓い合った気持ちはいまでも変わりません。

私は、「憲法まもれ」「戦争する国づくりを許さない」  
という声を安倍政権に突きつけるとともに、憲法をいか  
した政治のあり方を、国政の場で示していきたい。

## 憲法9条と安倍政権

「戦争法」による海外で  
の武力行使と、憲法9  
条が定める「戦争放棄」  
「戦力不保持」「交戦権  
否認」の原則の矛盾は明  
らか。そのため、安倍首  
相は、憲法そのものの書  
き換え（明文改憲）に乗  
り出そうとしている。し  
かし、各種世論調査でも  
憲法9条改定には6割  
以上の国民が「反対」。  
安倍首相がいう「挑戦」  
は、国民に対する挑戦に  
他ならない。

## 「改憲」—そのねらい

自民党の「改憲草案」で  
は、9条を改変し、自衛  
隊を「国防軍」として、  
集団的自衛権の行使も、  
海外での武力行使も無制  
限に可能にすることや、  
有事（＝戦時）や大規模  
自然災害の際に、首相に  
権限を集中し、国会審議  
などの手続きを省略して  
国民の権利を制限する、  
緊急事態条項などが明記  
されている。

## パートナーは語る

小さい頃、自宅マンションから  
行き交う列車を毎日眺めていた  
山添さん。高校生の頃からは、  
朝陽を浴びて走る寝台特急を撮  
影しようと全国各地に。年間  
5000枚を超える鉄道写真マニ  
アです。



パートナーの大田朝子さんは語ります。  
「いつもはひょうひょうとしていますが、  
大事な時には臆せず、ためらわず、『正しい』  
と思うことをまっすぐぶつける人です。  
彼はどんなに忙しくても、趣味を楽しむ時  
間を大事にしています。二人でも、お互い  
の家族ともよく旅行へ行きます。」

やまぞえ たく

# 日本共産党の山添拓は



## ■ 戦争法廃止の「国民連合政府」 実現へ全力をつくします

- 消費税10%への増税中止。  
税金はくらし応援のために
- 働く人の命とくらしを第一にする  
雇用のルールを
- 原発再稼働ゆるさず、福島原  
発事故の被害救済を
- 若い世代が将来に夢と希望を  
もてる社会を

# 政治を拓く新しい力を国政に



日本共産党委員長  
志位和夫

安倍政権による憲法破壊を何としてもストップしなければなりません。若き弁護士として活躍してきた山添拓さんは、みなさんの期待にかならず応え、大きな力を発揮してくれると確信しています。安倍政権の暴走に立ち向かう、私たち日本共産党に、新しい力を与えてください。

### 参議院選挙・制度解説

2回目 1回目

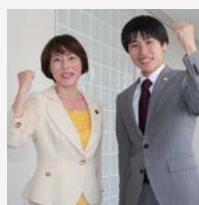
政党名で  
比例代表の投票は

候補者名で  
選挙区の投票は

※個人名でも投票できます  
(記号例)

## 山添拓さんと力を合わせてがんばります

参議院議員 (比例代表予定候補)  
主な活動地域は東京



# 田村智子 たむらともこ

1965年長野県小諸市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。2010年参議院議員初当選(1期目)。現在、参議院文教科学委員、決算委員、震災復興特別委員。党中央委員。家族は夫と一男一女。趣味は歌、映画鑑賞、読書。